

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

**アルミニウム合金** (13年特許公告第1731號, 公告13-5-9, 東京市, 日本火工株式會社) 抗張力大にして延伸率も又小ならざるAl合金を得んとする目的を以てMg 2~5% Pb 6~14% Fe 0.1~0.5% Si 0.15~1.0% Mn 0.0~1.0% Mo 3~0.3% 及殘部AlよりなりSi分は常に鐵分より多量ならしめたるAl合金。

**Ni又は其の合金の耐酸被膜形成方法** (13年特許公告第1775號, 公告13-5-11, 東京市, 日本火工株式會社) 常溫に於て鹽酸其の他の酸に耐へ得る耐酸機械器具材料を得る目的を以てMo又はFe-Moの粉末と鹽化亜鉛又は其他適當のハロゲン化合物とAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>又はMgO等の安定なる酸化物の1種又は2種以上の混合物とを適當に混じて處理すべきNi又は其の合金と共に密閉容器中に入れ適當の溫度に加熱してNi又は其の合金の表面上にMoを多量に含有する被膜を形成せしむる事を特徴とするNi又は其の合金の耐酸被膜形成方法。

**豎坑電氣爐特に直接抵抗加熱爐に関する改良** (13年特許公告第1820號, 公告13-5-13, 朝鮮, 日本マグネシウム金屬株式會社) 蒸溜法によりMgの如き金屬を回收するに好適なる直接抵抗加熱式豎坑電氣爐を得る目的を以て, 豎坑の蒸溜帶に透孔が列設せられ該透孔を豎坑の外壁に對し上向きに傾斜せる板狀體の隔板にて數多の透隙に分離し豎坑内を降下する原料物質を隔板上に於て自然的の傾斜となし豎坑の蒸溜帶は之を共通收集室にて包圍し前示の透隙を該收集室内に開口せしめ且此收集室より凝縮室に連結管を分岐せしめたる豎坑電氣爐。

**低膨脹ムライト鑄造耐火物の製法** (13年特許公告第1877號, 公告13-5-18, 東京市, 旭硝子株式會社) 鑄造地の膨脹係數をして甚小且各部均等のものとならしめ溫度の急變に對する抵抗度を増進せしむる目的を以て, ムライトの組成附近を目標とする珪酸及礬土の混合物に苦土を添加して之を電融し鑄造し以て凝固作用の末期に生ずる珪酸質結晶間隙物をして苦土礬土珪酸鹽結晶體たらしめ該鑄造物をして3~10%の苦土を含有する如くすことを特徴とする低膨脹性ムライト質鑄造耐火物の製法。

**水硬性耐火セメント, モルタル製造方法** (13年特許公告第1878號, 公告13-5-18, 東京市, 永井彰一郎) 水と混捏すれば既に常溫に於ても充分硬化強度優秀にして而も高溫度に於て膨脹收縮すること極めて少なく中性にして耐火度高き特殊の水硬性耐火セメント, モルタルを合理的に製造せんとする目的を以て, 菱苦土鑄の如く苦土を主成分とせる原料を約1,500°C~1,600°Cの高溫度に燒成し完全に膨脹收縮を無からしめ高溫度に頗る安定となせる死燒苦土又はクロム鐵鑄の如く酸化クロムを主成分とするものを其のまま又は約1,600°C以上の高溫度に煨燒して得たるクロム鐵鑄シャモットの如く充分膨脹又は收縮を起さしめ安定ならしめたる後之を適當の粒度となしたるものを第1要素(耐火要素)となし別にディアスポル質シリマナイト質カヤナイト質等の高礬土質粘土と石灰石とよりゲーレット, グロシユラリット等に類似の礬土珪酸石灰鹽又は高礬土質の礬土酸石灰鹽を燒成し之を微粉末となしたるものを第2要素(硬化要素)となし更に此第2要素の硬化性及可塑性を誘發増加すべき生石灰, 消石灰, 苦灰石煨燒物の如き石灰含有物の少量を第3要素(潜在水硬性及可塑性誘發要素)となし此等第1第2及第3要素を適當なる配合割合に混合することを特徴とする水硬性耐

火セメント, モルタル製造法。

**青化製鍊に於ける金液沈澱劑** (13年特許公告第1911號, 公告13-5-20, 大阪市, 松川達夫) 普通使用せらるゝ亜鉛よりも金銀沈澱率の遙かに優秀なる沈澱劑を得る目的を以てAl 20~50%及びZn殘部との合金よりなる青化製鍊に於ける金液沈澱劑。

**金屬及合金の精製方法** (13年特許公告第1912號, 公告13-5-20, 亞米利加合衆國, バツファロ, エレクトリック, ファーネイス, コーポレーション) 金屬及合金中の不要成分を除去し或は之を調整して其の精製を行ひ或は其の所望成分をも調整して所望成分の製品を容易且簡單に製造し得べき精製方法を提供せんとする目的を以て, 少く共一種の金屬を所望成分として含有し且つ少く共一種の酸化し得べき不要成分を含有せる多數の成分より成る金屬含有材料の精製に於て一酸化炭素の雰圍氣内にて被精製材料及其の上に於ける酸化鑄滓との熔融浴を形成し又實質上水平をなせる中空電極内にて出發原料の混合物より金屬の酸化物と還元金屬とより主として成る酸化劑を該還元金屬の融點よりも高き溫度に於て該電極内に保留しつゝ生ぜしめ而して此酸化劑の或量を熔融浴に之と液狀にて混合するに適する如く供給し而も此の供給を酸化劑の酸化作用を熔融浴中の酸化し得べき不要成分に及ぼさしめて該不要成分の量を酸化物に變化することに依り減少し得べからしむる條件の下に行ふ金屬及合金の精製方法。

**硫黃鑄の處理法** (13年特許公告第1913號, 公告13-5-20, 東京市, 長塚順次郎) 含有硫黃を浮游し易き狀態に變化せしむると共に浮游選鑄の際泥の膠狀化を防止し以て硫黃の採收率を高上するのみならず沈澱鑄又は之れに類似の組織を有し浮游選鑄に附し得ざる鑄石をも浮選可能ならしめ進んでは從來顧みられざる貧鑄をも有利に處理せんとする目的を以て, 硫黃鑄を二硫化炭素に依り處理し硫黃を溶解し加熱乾固して二硫化炭素を除去し硫黃を乾泥中に殘留せしめ然る後之を浮游選鑄法に依り處理する硫黃鑄の處理法。

**燒結爐** (13年特許公告第1940號, 公告13-5-23, 愛媛縣, 住友機械製作株式會社) グレートバーの上下動作を最も有效適切に行はしめ以てグレート間の介在物を除去せしめんとする目的を以て燒結爐を同一方向に驅動すべくなし燒結爐1回轉中に導棒内を摺動すべき重錘に依り2回の衝擊をグレートフレームを徑てグレートバーに與えると同時にグレートバー交互の上下運動並正規位置への復歸を衝擊的に遂行せしむべくせることを特徴とせる燒結爐。

**金屬壓延原材製造機械の改良** (13年特許公告第1935號, 公告13-5-23, 東京市, 藤澤威雄) 廻轉圓筒の表面に於ける熔融金屬の凝固狀態を均等ならしめ以て廣幅且薄肉の金屬壓延原材を熔融金屬より直接製造せんとする目的を以て, 中心距離を可調節的に2箇の中空廻轉圓筒を並設し是等兩圓筒内には中心に位するものより兩端に至るに従ひ漸次水表面積を有せしめたる多數の放熱環を對照的に設け該放熱環は其の並設間隔を調節し且つ放熱面積の異なる他の放熱環を置換使用し得べく圓筒に對して着脱自在たらしむると共に一方の圓筒の兩端には大徑の端板を定着し該端板と兩圓筒とにより漏斗狀の熔融金屬溜を形成せしめ且端板には前記金屬溜の下部止栓を一時的に支持すべき鉸を設けたる金屬壓延原材の製造機械。

**鋼の脱酸方法** (13年特許公告第1941號, 公告13-5-23, 佛國, ソシエテ, デレクトロシミイ, デレクトロメタルジイ, エ, デ

ザシエリ、ゼレクトリク、デニジイヌ) 鍍液成分を補ふ事無く又過量の還元剤を浪費する事無く簡單迅速且經濟的に鋼の脱酸及鍍滓の再生を反復達成せんとする目的を以て、脱酸すべき熔鋼の猛烈なる流下勢力に依り酸化鐵少く酸性にして大なる脱酸力を有するも甚だ流動性高き鍍滓を微塵に粉碎し鋼と鍍滓とのエマルジョン混合態を生成せしむる第1工程と該工程に於て熔鋼上に浮游せる酸化鍍滓を豫め熔融し置きたる還元剤上に激しく流下し其の流下勢力に依り鍍滓と還元剤とを甚だ良く混和せしめてエマルジョン狀混合態を生成せしめ鍍滓を再生せしむる第2工程との結合より成り該第2工程に於ける還元剤の量をして鍍滓中の酸化鐵含有量 1.5% 酸化マンガ含有量 3% 程度迄減少せしむる如く選定せる事を特徴とし該鍍滓を反復使用する鋼の脱酸方法。

**珪ニッケル鍍の處理法** (13年特許公告第1942號, 公告13-5-23, 東京市, 日本ニッケル株式會社) 珪ニッケル鍍中の Mg 分を簡單なる操作によりて除去し以て珪ニッケル鍍よりの Ni 抽出を容易且つ經濟的ならしめんとする目的を以て、珪ニッケル鍍を其の儘或は焙燒せる後粉碎し之を水の存在に於て過酸化水素又は常壓又は加壓の水蒸氣を以て處理することに依り珪ニッケル鍍中に始より存在し又は焙燒に依り生成せられたる MgO 分を可及的に水酸化マグネシウムとなし其浮游性を利用して水と共に浮游除去することを特徴とする珪ニッケル鍍の處理法。

**不燒耐火煉瓦の製造法** (13年特許公告第1913號, 公告13-5-23, 東京市, 永井彰一郎) 一般耐火煉瓦製造の普通法に於けるが如き燒成の工程を全く省略し常溫に於ても充分優秀なる硬化強度を呈し而も高過度に於て中性にして耐火度高き特殊の不燒中性耐火煉瓦を經濟的に製造せんとする目的を以て、菱苦土鍍の如く苦土を主成分とせる原料を 1,500~1,600°C の高溫度に燒成し完全に膨脹又は收縮を起さしめ高溫度に安定となせるマグネシア, クリンカー又はクロム鐵鍍の如く酸化クロムを主成分となせる原料を適當の粒度となしたるものを第1要素となし別にシリマナイト質, デイアスポル質, カヤナイト質等の高礬土質粘土と石灰石との適當なる配合物を約 1,200~1,300°C の比較的低温度なる燒成に依りゲーレンツトグロシニテリット等に類似する成分を有し且潜在水硬性を有する礬土珪酸石灰鹽の均等生成物を粉碎して適當の粉末度となしたるものを第2要素となし更に此の第2要素の潜在水硬性及可塑性を誘發すべき生石灰 消石灰, 苦灰石煨燒物の如き石灰含有物の少量を第3要素となし此等第1第2第3要素を適當なる配合割合に混合し少量の水を加へ乾式法に依り強壓の下に任意形狀の耐火煉瓦を成形し一般耐火煉瓦製造の如き高温燒成工程を経ることなく硬化せしむることを特徴とする不燒中性耐火煉瓦の製造法。

**坩堝製造機** (13年特許公告第1975號, 公告13-5-25, 大阪市, 大阪坩堝株式會社) 坩堝の製造時に於て坩堝の側壁部を形成せしむるに際し坩堝形成用轉子と相共に作動すべき坩堝側壁部形成用轉子の形狀を變化せしむることのみによりて自在に而も極めて簡易迅速に一操作のみによりて完全なる坩堝主として黒鉛坩堝の優秀なる品質のものを製出せしんとする目的を以て、廻轉臺枠上に着脱自在なる坩堝製造型を固着せしめ該坩堝, 製造型内に坩堝底部形成用轉子或は坩堝形成用轉子を自在に挿入せしめ得べくせる該坩堝形成用轉子の一側部に位置して所要の形狀をなせる坩堝側壁部形成用轉子を適宜の支杆を以て附設せしめたることを特徴とする坩堝製造機。

**ニッケルの無隔膜電解精鍊方法** (13年特許公告第1934號

公告, 13-5-25, 東京市, 三菱鍊業株式會社) 從來困難とせられし Ni の無隔膜電解精鍊の經濟的實行を容易ならしめんとする目的を以て、Ni の電解精鍊を行ふに當り電解液中の硫酸濃度を每立 15g 以上に達せしめざる様電解の進行に伴て生成する硫酸を電解液環流回路中に於てアルカリ又はカルシウムの水酸化物又は炭酸鹽の1種又は2種以上を以て中和を行ひ次で電解液の一部を蒸發して Ni 濃度の低下を防ぐことを特徴とする不溶性陽極を用ふる硫酸ニッケル溶液より Ni の無隔膜電解精鍊法。

**アルミニウム又は其合金にニッケル又は其合金を電鍍する方法** (13年特許公告第1985號, 公告13-5-25, 菅原善治) 著しく堅牢なる Ni 電鍍又は其合金電鍍を Al 又は其合金面上に形成せしめんとする目的を以て、Al 又は其合金殊に之等の鑄造物を青化銅, 苛性曹達, 青化加里, 珪酸曹達の水溶液中に於て鍍板を陽極として電解的脱脂清淨を行ひたる後カドミウム鹽又は亜鉛鹽又は兩鹽を焦性磷酸曹達又は硼酸曹達と共に溶解せる浸漬液にて濕潤しつゝ眞鍮刷子又は硬質球玉にて壓搾して微孔を填塞し再び前記浸漬液に浸漬し然る後 Ni 電鍍次に Sn Pb, Cb Zn の如き軟金屬を電鍍し之を眞鍮刷子又は硬質球玉にて壓搾し次に Ni 又は其合金を動搖加温しつゝ電鍍する Al 又は其合金に Ni 又は其合金を電鍍する方法。

**交流同期點弧方式** (13年特許公告第2030號, 公告13-5-27, 逓信大臣) 電弧熔接等に於ける交流電弧の安定及一般に所期瞬時に於ける電弧の發生を容易になし得るが如き交流同期點弧方式を供給せんとする目的を以て、真空管發振器に於て真空管の制御格子に制御交番電壓を加へて發振限界を制御交番電壓の零値附近に制限し發振の起減に起因する急跳電壓により零値附近に於て消滅せんとする。若くは消滅せる交流電弧の電極内に所要の電壓を印加し以て電弧の繼續若くは再發弧を容易ならしめ且つ電弧電流の零値附近に於ける點弧瞬時の選擇を容易になし得るが如き交流同期點弧方式。

**マグネシウム又はマグネシウム合金の電解的防蝕法** (13年特許公告第2048號, 公告13-5-30, 東京市, 古河電氣工業株式會社) 強靱にして氣孔少く防蝕性高き皮膜を得んとする目的を以て Mg 又は Mg 合金より成れる被處理物を苛性加里と黃血鹽と青化加里又は青酸加里又はロマン酸加里の一つ又は夫以上との混合物より成れる電解液に依て直流又は交流を以て電解することを特徴とする Mg 又は Mg 合金の電解的防蝕法。

**急速可鍛鑄鐵管製造法** (13年特許公告第2050號, 公告13-5-30, 福岡市, 谷村照) 強靱にして破損し難き鑄鐵管を短時間に得んとする目的を以て、從來の可鍛鑄鐵製造方法にては素材の白銹化困難なりし C 2.0~3.5% 及 Si 及 Ni Cu Al 或は P の一種又は數種の和を 1.0~4.0% にとり炭素の量に適應せしめて Si 及 Ni 等の元素を選び且 C 及 Si 其他の元素の和との總和を 4~7% たらしめ又白銹の黒鉛化を妨ぐべき元素例へば S Mn Cr 等を可及的微量に含有せしめたる低炭素鐵合金を金屬製中空圓筒形鑄型に注入し急冷しつゝ遠心力鑄造し全斷面を白銹化せしむることを特徴とし次に此の白銹管素材を極めて短時間に 900~1,000°C に於て軟化燒鈍により黒鉛化せしむることより成る急速可鍛鑄鐵製造方法。

**鐵板に鍍銅を施す方法** (13年特許公告第2051號, 公告13-5-30, 東京市, 遠藤武雄) 表面極めて清淨なる鐵板に鍍銅せしめて其の鍍着を良好ならしめ決して剝離せざる極めて耐久性大なるものを得んとする目的を以て、硫酸銅の溶液中に鐵板を浸漬して溶液中の銅を先づ斑なく鍍着し次に之を熔融せる銅若くは銅の合金中に浸

38

漬することを特徴とする鐵板に鍍銅を施す方法

**燒炭硬化性銅合金** (13年特許公告第2125號, 公告13-6-3, 東京市, 古河電氣工業株式會社) 燒炭硬化性著しく大にして硬度並に抗張力高く耐熱性耐酸化性耐海水性鑄造性良好にして且壓延鍛造抽伸等の加工容易なる銅合金を經濟的に得んとする目的を以て, Zn 5~20% Ni 3~8% Al 3.5~6% Fe 1-7% Mn 1.5~3% 殘部銅及其の不純物よりなれる燒炭硬化性強力銅合金。

**鐵着フラスクの製造方法** (13年特許公告第2149號, 公告13-6-6, 東京市, 寺田正一) 從來鐵着に困難を感じたる諸種の金屬を易く鐵着し得るフラスクを製造する目的を以て, 弗化加里に硼酸を作用せしめ必要量の重弗化加里と加里硼砂とを生ぜしめ之に銀, ニッケル, コバルト, 銅等の如き特殊金屬の硝酸鹽の適量を加ふることを特徴とする鐵着フラスクの製造方法

**硝子と金屬との結合方法** (13年特許公告第2150號, 公告13-6-6, 東京市, 明坂謙一) 硝子板と金屬屑とを破壊せらるゝ虞なく緊結する簡單なる方法を得んとする目的を以て, 硝子板及其表裏兩面に重疊せる金屬の挾持部に互に對合する孔を穿ち該孔中に軟鐵片を挿入し次に該軟鐵片及挾持部を電氣熔接機に接續して軟鐵片を熔融せしめ硝子板及挾持部の孔の擴大部其他の間隙に充填することを特徴とする硝子と金屬との結合方法

**燒炭槽に於ける鋼帶浸熱時間調節裝置** (13年特許公告第2151號, 公告13-6-6, 東京市, 海野幸保) 燒入鋼帶の燒炭槽に於ける熔融體内の材料浸漬の深さ及距離を簡単に調節して燒炭を最も有効且均齊に行はんとする目的を以て, 燒炭槽の上部に縱方向に移動し得る架臺を設け之に昇降並に擺動自在に鋼壓下裝置を設けたる燒炭槽に於ける鋼帶浸熱時間調節裝置

**銅合金** (13年特許公告第2218號, 公告13-6-10 東京市, 古河電氣工業株式會社) 抗張力並に伸長率の如き靜的機械性質優良なるのみならず繰返伸縮又は彎曲等に對する耐疲勞性大なる銅合金を得んとする目的を以て, 珪素 1~7% アルミニウム 0.5~7% カルシウム 0.05~1% と殘部銅を含有する銅合金

**燒炭硬化性銅合金** (13年特許公告第2219號, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 耐高壓蒸氣性, 耐磨耗性大にして蒸氣タービン航空發動機其他一般機械部品構成材料として好適なるものを得んとする目的を以てニッケル7~25% 鐵7~25% アルミニウム1~7% 及びモリブデン, タングステン, ヴァナデウムの1種又は2種以上の組合せ添加量1.0%以下亜鉛2%以下(特に0.5~1.5%) 並に殘部銅を含む燒炭硬化性銅合金

**スピンドル燒炭裝置** (13年特許公告第2220號, 公告13-6-10, 大阪市, 大阪瓦斯株式會社) 燒入スピンドルの燒炭區内を正確に限定すると共に燒炭を均等に行はしめ得る簡易有效なる燒炭裝置を得んとする目的を以て, 互に平行狀態を保持して移動し且夫々燒入スピンドル(9)を嵌入すべき多數の凹部(9)(9)を有する左右一對のスピンドル移送用無端鎖(7)及(8)の内側に沿ひ其の凹部(9)(9)に嵌入したるスピンドル(9)の圖面に接觸して該部分を冷却すると共に無端鎖(7)及(8)の移動に伴ひてスピンドル(9)を上面に於て自轉せしむべき左右一對の滲水帶(16)とを具へ且兩滲水帶(16)及(17)の中間位に熱源24を裝置したることを特徴とするスピンドル燒炭裝置

**研磨剤の製造方法** (13年特許公告第2238號, 公告13-6-10, 大阪市, 上村長兵衛) ドロマイト鑛石より容易且經濟的に品質優良なる研磨剤を得んとする目的を以て, 天然産ドロマイト鑛石を焙焼し

たる燒ドロマイト塊を水又は焙燒にて研磨力を有する物質を生ずる可溶性鹽類の水溶液を以て徐々に消化作用し消化作用完成後, 此消化物に適當水を注加攪拌混捏して適宜の形狀に成型乾燥後加熱焙燒し冷却後粉碎し微粉末となすことを特徴とする研磨剤の製造方法

**金屬マグネシウムの製造方法** (13年特許公告第2261號, 公告13-6-13, 東京市, 日本マグネシウム株式會社) 炭酸マグネシウムを原料とし能率良く連續的に純度高き金屬マグネシウムを製造せんとする目的を以て, 炭酸マグネシウムに炭素若くは有機物質を密和して焙燒し得らるゝ易反應性混和物(マグネシア及炭素)を鹽化マグネシウムの存在に於て熔融電解せしめ金屬マグネシウムとの生成と同時に副生する鹽素の上昇と補給する易反應性混和物(マグネシア及炭素)の下降とに因り鹽化マグネシウムを生成せしめて電解室に入らしめ連續的に電解することを特徴とするマグネシウムの連續的製造法

**食鹽水に耐ゆるマグネシウム合金** (13年特許公告第2262號, 公告13-6-13, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 車輛並に航空機部分品として食鹽水に耐ゆる耐蝕性大なるマグネシウム合金を得んとする目的を以て, マンガン0.5~3.5%, リシウム0.03~1.0%を含有することを特徴とする食鹽水に耐ゆるマグネシウム合金

特許拔萃

特許番號	名稱	特許權者	鐵と鋼
124266	銅, 銀, 亜鉛, カドミウム, ニッケル, コバルト及其の各金屬を基體とする合金の着色又は防蝕處理方法	金屬材料研究所長	第23年, 10號
124328	銅又は銅合金の塗裝下地生成法	太田千代司	なし
124380	高速度鋼刃先接着方法	錦織清治 外1名	第23年, 12號
124390	高抗張力銅合金電氣導體	金屬材料研究所長	第23年, 10號
124398	遠心力に依る不純アルミニウムの精製法	大日方一司	第24年, 1號
124455	鉛を含有するヴァナデウム鑛よりフェロヴァナデウムの製法	正木康作	第23年, 6號
124535	鋼線を熱處理すると同時に眞直となす方法	篠彦次郎	第24年, 1號
124478	蓄熱爐の加熱ガス及排出ガス制御裝置	オットーライネル	なし
124585	裏打箔用銀箔製造法	三油孫二	なし
124711	耐磨耗性合金	海軍大臣	第24年, 2號
124730	圓筒狀の銅爐を備ふる金屬精鍊用爐	ドクター, カール, クライヤー	第24年, 1號
124758	新選銀捕集劑	合名會社青木化學製油所	なし
124781	熔鑄爐裝入用バケツト裝置	株式會社東京石川島造船所	なし
124863	銅合金	東京鋼材株式會社	第24年, 2號
124864	同上	同上	なし
124887	工作刃物製造法	鈴木信一	23年, 12號
124943	電極燒成方法の改良	電氣化學工業株式會社	24年, 2號
124948	放熱器製造方法	矢野又次郎	なし
125015	水溶性防錆劑	濱野一雄	なし
125017	マグネシウム又はマグネシウムを主成分とする合金の浸漬防蝕法	古河電氣工業株式會社	24年, 3號
125087	バイメタルの製造方法	株式會社日立製作所	22年, 2號
125095	合金燒付方法	細本久一	24年, 3號